

議会報告会での要望・意見に関する事業等の進捗状況調査表

課等の名称

健康づくり課

項目	ワークショップ NO. 3		市内への分娩施設の誘致					
議会報告会での要望・意見	内容	市内に分娩施設がほしい。難しいことはわかるが、あらためてなんとかしてほしい。						
担当部課での対応状況	地元からの要望	1	あり	時期		年度		
		2	なし					
	要望・意見について (2 把握している)	1 把握していない	1	今後実施可能	実施時期		年度	
			2	今後実施は困難	具体的な理由 ※ 別欄へご記入ください			
		2 把握している	1	把握しているが未実施	具体的な理由 ※ 別欄へご記入ください			
			2	実施計画策定	時期		年度	
			3	予算措置	時期		年度	
				予算額			千円	
			4	事業完了	時期		年度	月
				事業に要した額			千円	
5	次年度以降取組み予定							
関係法令・内部規程等 (関連法令があればご記入ください。)	関係法令	医療法						
	内部規程							
総合計画との関連 (総合計画との関連があればご記入ください。)	第2章 安心して暮らせる福祉のまちをともにつくる 第2節 安心して生み育てられる環境をつくる 第1項 出産子育ての不安と負担を減らします ○出産前からの継続した支援体制の充実							
※実施困難な理由 (障害となるもの等を具体的に ご記入ください。)	○全県的に分娩を取り扱う施設が減少し、また苛酷な勤務環境、医療訴訟の増加等から産科医師も不足している状況が続いている。 ○分娩医療機関の開設には一般に複数の医師等のスタッフが必要だが、確保が非常に困難な状況です。							
その他 特記事項 (既に取組んでいる場合、どんな取組みをされているのか、また今後どのような取組みをされる予定があるかなどをご記入ください。)	○松本市医師会、安曇野市医師会、塩筑医師会、信州大学医学部、県立こども病院等、松本市長、安曇野市長、塩尻市長、5村で構成する、「松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」を設置し、本市を含めた松本医療圏での出産・子育て医療提供体制を確保している。「共通診療ノート」による、分娩医療機関と健診医療機関の役割分担と分娩医療機関の負担軽減を図り、また連携強化病院従事医師の研究費等の支援を行っている。 ○松本地域の分娩医療機関等の現状(26年7月1日現在) ・分娩医療機関 松本市 4、安曇野市1 ・診療医療機関 塩尻市2、松本市10、安曇野市4 ○平成22年6月に塩尻市産科医療研究ネットワーク協議会を設置し、研究・協議をするなかで、「分娩施設の設置のみが全ての解決ではなく、出産子育ての支援の充実も大切」という意見をもとに、担当部課において「子育て応援BOOK」やパンフレットによる情報提供や相談事業、連携の強化によって支援の充実を図っている。 ○分娩医療機関の確保が困難の中で、桔梗ヶ原病院にお願いし、平成23年度から婦人科外来を再開した。 ○今後医師会等とも相談しながら、研究を深めていく。							

